

Financial Adviser

10

[ファイナンシャル・アドバイザー]

OCT. | 2015

No. 203

www.kindai-sales.co.jp

高齢者取引に どう対応するか 判断能力を巡る問題点とFPアドバイス

特集関連インタビュー

「一般社団法人しんきん成年後見サポート」に聞く
法人設立の背景と成年後見制度普及への役割

巻頭インタビュー・FP羅針盤

金上孝

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役社長

取材企画

レポート・FPコンサルティング最前線!
第4回 日本生命FPコンサルティングチーム

特別企画

10月から「通知カード」の送付がスタート!

Q&Aで学ぶ

マイナンバーの必須知識



笑顔相続の ススメ

第31回 家系図の魅力

相続の相談を受ける際、必ずヒアリングすることのひとつに、相続人（家族関係）が挙げられます。例えば、相談者である父がいて、母がいる。その父母の間には、子が何人いるのか。それぞれ結婚しているのか、孫はいるのか、自宅は賃貸なのか等々、細かいところまで話を聞くことによって、相続相談の全体像を把握していくこととなります。この一連のヒアリングが終わると、

相談ノートの上には、相続関係図が完成しています。

この相続関係図を作ることで、ひと目で相続人や相続相談のポイントを確認することができるようになります。相続税対策まで考える場合は孫の数や年齢まで確認することもありますし、特殊な事情がある場合には、さらに広範囲にわたってヒアリングすることもあります。

しかし、相続や相続税対策にあまり関係のない被相続人の祖父母や曾祖父母にまで話が及ぶことは少ないのではないのでしょうか。今回は、そんなご先祖さまのお話です。

財産以外にも引き継いでいる

人類発祥の地はアフリカで、日本人の半数は藤原鎌足にルーツがある、なんてスケールの大きい話も楽しいものですが、まずは自分に近いご先祖さまはどんな人なのだろう、と興味をわきませませんか。そんな興味が端緒となり、最近私は、家系図の持つ魅力を見直しています。

本屋に足を運ぶと、「自分で作れ

る家系図」という内容の本が並んでいますし、インターネットで検索すると、「家系図作成の手引き」や「家系図200年コース〇〇万円」と面白そうなサイトが出てきます。中には、1000年遡ることができるという家系図専門家もいます。

米国では、自分のルーツ探しは、庭いじりの次に人気があるといわれています。人類共通の興味なのでしょう。

実際に家系図を作成するときには、戸籍謄本を取り寄せたり、親戚に話を聞いたり、お墓を訪問したり、古文書を読んだり、家紋や氏の由来を調べたりして、情報を集めていきます。

その過程で、自分の先祖はどの地で生活を送っていたのか、どんな職業に就いていたのか、実はあの人と遠い親戚であった、なんてことが判明し、次第に自分のルーツがわかってきます。

そして、でき上がった家系図を見て、気付くのです。お金持ちでも、そうでなくても、自分の親は2人いて、祖父母は4人いること。今の自

分がいるのは、ご先祖さまがいるからだということ。ご先祖さまと自分を通して、時代とつながっていること。そして、ご先祖さまから、祖母から、親から無償で与えられたものの、引き継いだものが自分の中に確実にあることに気づき、自然と感謝の気持ちがいってきます。

ご先祖さまを敬い、今の自分が存在していることに自然と感謝できる家系図の魅力は、こんなところにあるのだと感じます。

皆さんも、相続実務で日々いろいろ経験しながらも、気分転換に自分の家系図を作ってみるのもよいかもしれませぬ。

脈々と受け継がれていくものは、やはり財産だけではないということですよ。



小川 実

一般社団法人相続診断協会
代表理事

一般社団法人相続診断協会代表理事、税理士法人HOP代表社員、税理士。自ら笑顔相続の伝道師と命名している。『Q&A相続税大増税に備える「笑顔相続」のススメ』（ぎょうせい）発売中。

